

都市再生整備計画 事後評価シート原案
多度津駅周辺地区

令和5年10月

香川県多度津町

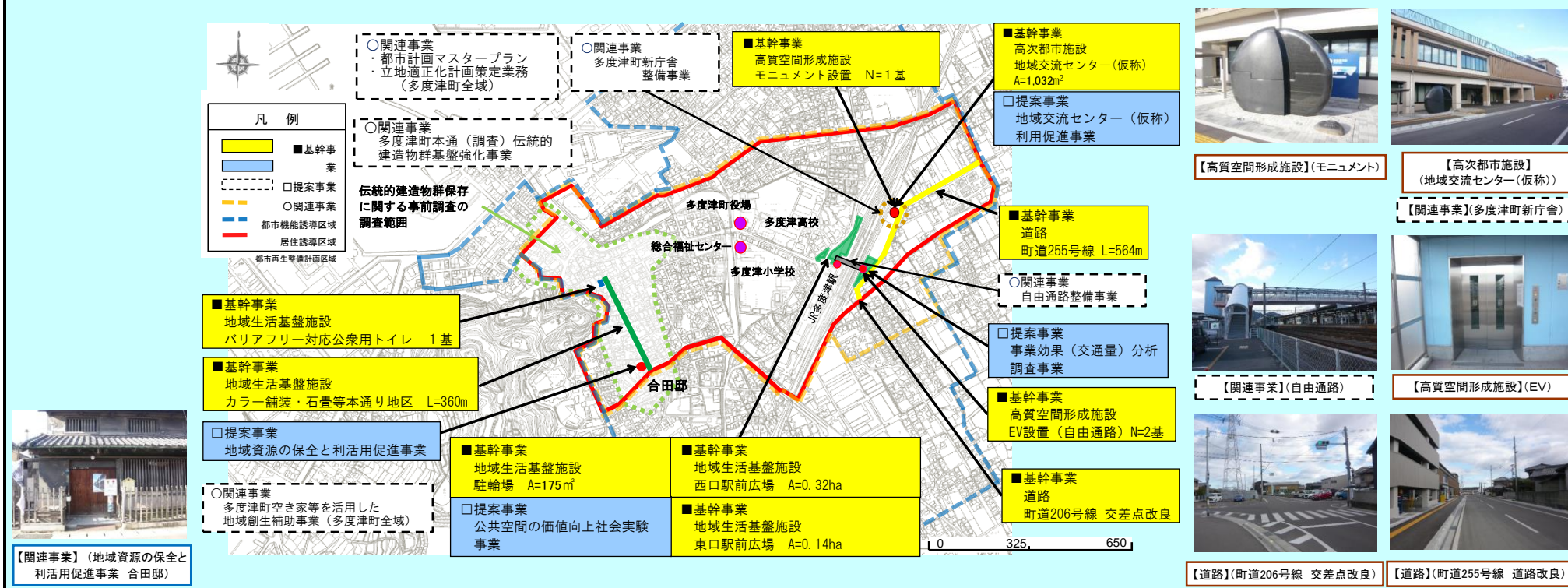
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	香川県	市町村名	多度津町	地区名	多度津駅周辺地区			面積	68ha			
交付期間	平成30年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	1,601百万円	国費率	0.486					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(町道新設、町道206号線、町道255号線)、地域生活基盤施設(西口駅前広場、東口駅前広場、駐輪場)、高質空間形成施設(自由通路EV設置)									
		提案事業	地域創造支援事業(地域資源の保全と利活用促進事業)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(町道新設)	削除/追加の理由		新設道路の必要性の再検証						
		提案事業										
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(カラー舗装・石畳等、バリアフリー対応公衆用トイレ、モニュメント設置)、高次都市施設(地域交流センター(仮称))	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		地域交流センターとして地域の交流拠点の場を整備することでより一層の賑わいの創出を図った						
		提案事業	地域創造支援事業(地域交流センター(仮称)利活用促進事業)、事業活用調査(事業効果(交通量)分析調査事業、公共空間の価値向上社会実験事業)			地域交流センターとして地域の交流拠点の場を整備することでより一層の賑わいの創出を図った						
交付期間の変更	当初変更	平成30年度～令和4年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	駅乗降者数	人/日	4,204	H28	4,200	R4	3,544	×	あり	新型コロナウイルスの感染者が確認された令和2(2020)年より前までは、おおむね4,200人/日に近い数字であったが、令和2(2020)年以降は、8割程度に減少した。	
										なし	●	
	指標2	東西横断者数	人/日	1,593	H29	1,600	R4	1,687	○	あり	新たな跨線橋の整備や跨線橋内へのエレベーターの設置、駐輪場の整備等も横断者数増加に寄与していると考えられる。	
										なし	●	
指標3	都市機能誘導区域内の人口密度	人/ha	37	H29	37	R4	34	×	あり	新庁舎整備、道路、駅前広場、自由通路等の整備を行ったが、都市機能誘導区域内の人口密度維持には繋がらなかった。		
									なし	●		
指標4	地域交流センター(仮称)の利用者数	人/年	13,237	H29	17,400	R4	25,201	○	あり	以前の施設と比較して貸室数の増加、フレキシブルに利用できる分割会議室の整備、利用予約システムの活用等により、利用者の増加につながった。		
									なし	●		
指標5									あり	なし		
									なし	●		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	モニタリング	実施内容	実施状況	今後の対応方針等								
		・実施せず	都市再生整備計画に記載し、実施できた									
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
官民連携による取組	・令和4年12月3日に、たどつ「桜たんページェント」を開催した	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	開催時期や開催場所を検討し、たどつ「桜たんページェント」継続を図る。								
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
持続的なまちづくり体制の構築	まねきねこ課を中心としたタウンプロモーションに関する官民一体となった活動を実施した	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	町職員といる民間の団体・企業からの推薦者が一体となって企画を行い、町の魅力発信等に関する事業を実施する。								
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要

多度津駅周辺地区(香川県多度津町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標 多世代が行き交い、活力と交流、にぎわいを生み出す拠点づくり 目標1 駅周辺地区のにぎわい創出に資する受け皿づくり 目標2 駅利用者の利便性の向上及び駅周辺地区の良好な交通・住環境整備 目標3 既存ストックの有効活用とその促進による都市機能の確保	駅乗降者数 単位:人/日	4,204 H28	4,200 R4	3,544 R4
	東西横断者数 単位:人/日	1,593 H29	1,600 R4	1,687 R5
	都市機能誘導区域内の人口密度 単位:人/ha	37 H29	37 R4	34 R4
	地域交流センター(仮称)の利用者数 単位:人/年	13,237 H29	17,400 R4	25,201 R4



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 西口駅前広場、東口駅前広場、駐輪場、自由通路等の整備により、JRの東西を横断する人数は増加した。 地域交流センターの利用者は、旧の施設と比べて増加した。 駅前広場整備や自由通路におけるエレベーターの設置などにより、回遊性の向上や利便性の向上が図られた。 道路改修によって地域の交通環境の向上が図られた。 新たに整備された庁舎及び交流センターは、モニュメントの設置も含めて町の新たなシンボルとしての景観を有している。 新庁舎や交流センターの整備、道路、駅前広場、自由通路等の整備により、都市機能の誘導及び居住誘導に向けたハード整備がなされた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流センターは、定期的な会合・教室等の利用にとどまらず、イベントの開催等により、利用者の増加を図る。 都市機能誘導区域内の生活環境の向上や利便性向上に向けて、都市機能の集積による利便性の向上に向けて取組を推進する。